

母校を想う

思い出は決して色褪せない

常磐小で教諭、教頭、校長として過ごされてきた越川さん。退職後も母校の常磐小を見守り、支え続けてきた越川さんに常磐小の思い出についてお話を伺いました。

大好きな常磐とともに



越川 正さん(坂)
【元常磐小校長】

私が常磐小に赴任した当時、一つの敷地内に幼稚園、小学校、中学校の3つがあり、幼・小・中一貫の学園都市のようでした。秋の運動会は合同で中学校のグラウンドで行われ、常磐中の住民が集まるため見学席を確保するのも大変な状況でした。出演種目も多くグラウンドの内と外の同時進行で競技が行われていたため、わが子を探すのも大変で時には退場する時によく

見つけたという話もあったほどでした。

常磐小といえは「二輪車」ですが、私が教頭だった時に千葉県教育委員会から体育の研究学校の指定を受けたことがきっかけです。私は年度末に転勤となり実際には携わる事はできませんでしたが、全校児童が一体となって楽しみな活動できるものとして一輪車乗りと竹馬乗りを取り入れたそうです。一輪車乗りを実践している学校は近隣には無く、指導に当たる職員の方の苦労は大変なものであったであろうと思います。公開研究会での全校児童による一輪車パレードと竹馬サッカーは見事なもので大勢の観衆を魅了させました。その後「常磐小と言えは一輪車乗り」というイメージが定着し、歴代の諸先生方や子どもたちが大事に伝

統をつなぎ今日に至ります。毎年の運動会では、まるでサーカスのようなさまざまな乗り方を披露し観客を楽しませてくれました。

児童の減少が進むにつれ、校舎内外の掃除や花壇の手入れが児童だけではできなくなっていました。私が在職中、放課後に花壇の手入れをしていると数名の児童が寄ってきておしゃべりをしながら手伝ってくれたことがありました。退職後も二十五年間、春はサルビアの苗を、秋にはパンジーの苗を育て常磐小に届けていました。閉校式の際に野口校長から感謝状をいただき恐縮しています。

私は、「常磐」という言葉がすごく好きで、村の名前を決める時に永久不変に緑豊かで自然に恵まれたというような意味で「常磐村」と命名したと聞いたことがあります。常磐小が閉校してもどこかに「常磐」という名前を後世に残してもらえたら嬉しい限りです。常磐小学校、長い間お世話になりました。ありがとうございます。



常磐小学校の沿革誌

- 明治6年 松崎学舎創設（松崎重經家塾）
- 明治9年 松崎学舎を松崎小学校と改称（五月）
- 明治15年 玉造小学創設（七月）
- 明治20年 玉造小学と松崎小学校と改称
- 明治22年 川嶋尋常小学校と改称
- 明治34年 玉造尋常小学校と松崎尋常小学校が合併
- 明治35年 常磐尋常小学校と改称
- 明治35年 常磐尋常小学校と高等小学校を合併

- 昭和12年 講堂竣工
- 昭和16年 常磐村国民学校と改称
- 昭和22年 常磐村立常磐小学校と改称
- 昭和29年 町村合併により多古町立常磐小学校と改称
- 昭和33年 常磐小学校付属幼稚園開園
- 昭和34年 南玉造二三四番地に移築校舎新築
- 昭和35年 幼稚園舎新築・講堂の移築完了
- 昭和41年 プール竣工（八月一日）
- 昭和50年 創立百周年記念事業挙行
- 昭和55年 校旗・校章制定
- 昭和61年 体育館竣工
- 昭和65年 新校舎竣工 南玉造一六二番地に住所変更
- 平成元年 千葉県教育委員会指定体育公開研究会開催
- 平成4年 全国保健体育優良校学校表彰受賞
- 平成5年 常磐幼小学校賛助会結成
- 平成12年 パソコンルーム開設
- 平成15年 多古町教育委員会指定公開研究会開催
- 平成22年 千葉県教育委員会「体力づくり推進モデル校」認定（平成24年）
- 令和元年 多古町立常磐小学校閉校式並びに閉校記念事業の実施
- 令和二年三月三十一日 多古第一小学校・常磐小学校の統合により閉校